

# 中学生を対象とした対話的な性教育の授業実践 ～「CROSS OPINION」カードを用いて～

発表者 野島 涼花  
指導教員 上地 勝  
今泉 友里

キーワード：性教育，保健授業，語り合い，中学生

## 1. 緒言

体育，保健体育の授業において，性に関する内容については小学校4年生，中学校1年生，高等学校1年生で学ぶ。この中で特に中学生は思春期の時期であり，他の校種と比べると，性に対してネガティブなイメージを有することが報告されている。例えば，上田は，中学生は性に対して快楽的表現や犯罪等に関する嫌悪感などのイメージを抱いていることを指摘している<sup>1)</sup>。このように，性に関する内容に対してナーバスかつデリケートに感じている中学生が，他の教科同様，性の内容に対しても主体的に取り組めるような環境・状況を作り，「認知するだけではなく行動に移すことのできる力」の育成を行う必要がある。これまで石井ら<sup>2)</sup>および湯瀬ら<sup>3)</sup>は，それぞれ高校生，小学校4年生を対象とした「CROSS OPINION」カードを用いた性教育を行っている。しかし，思春期の最中にあり，特に性に関して主体的対話的に学ぶことが求められている中学生を対象とした実践は行われていない。

そこで本研究では，中学生における性教育授業で，知識をより態度や行動に結びつける実践力を育むため，そして，主体的な学び，対話的な活動の一助のために「CROSS OPINION」カードを用いた授業実践と評価を行うことで，授業の有効性について検討することを目的とする。

## 2. 研究方法

### 2-1 対象

I 大学附属中学校1年生4クラス144人のうち，授業当日欠席した6人を除いた138人(96%)を分析対象とした。

### 2-2 授業の構成

授業は，保健分野「生殖に関わる機能の成熟」<sup>4)</sup>の単元中の1時間(50分)として構成した。授業

では，石井らが高校生を対象に実践した「CROSS OPINION」カードを用いた<sup>2)</sup>。中学生を対象とした「CROSS OPINION」カードを高等学校・小学校版で作成された「CROSS OPINION」カードを参考に作成し，研究対象校の担当教員と話し合い，用いるカードを選定した(表1)。

### 2-3 調査方法

授業のはじめに性教育に関するイメージ，授業のおわりに感想等を尋ね，選択式および自由記述式で回答を求めた。授業内の生徒の様子は録画し，班での話し合い活動は録音し調査を行った。

### 2-4 分析方法

選択式の質問項目についてはクロス集計を行い，各選択肢の男女別割合を算出した。分析には IBM SPSS Statistics を使用した。

「授業前後による生徒の性に関する授業イメージ」，「今回の授業を受けて重要だと思ったこと」，「CROSS OPINION を行ってみて学んだこと，授業の感想」については自由記述式で回答を求めた。加えて，話し合い中の生徒の活動を録音し，逐語録を作成した。分析には，文章分析ソフト KH Coder を用いた。

## 3. 結果

### 3-1 授業後の感想

男女別の授業後の感想について図1に示した。どの問いに対しても，女子より男子の方が語り合いに対して難しいと感じていた。また，「カードを用いた語り合い」を難しいと感じているのは全体で7人(5%)いるのに対して，「性について語ることを難しいと感じているのは59人(43%)であった。一方，「カードを用いた性についての語り合い」については，難しいと感じた生徒は17人(12%)になり，減少した。また，「カードを用いた性につい

表1 授業で用いた「CROSS OPINION」カード

NO.	役	問題
1	中学生	あなたの友達は，ある日をさかいに急に声が低くなりました。すると，ある人が「声が変わー！」とさわぎ出しました。「変だよな？」とある人に話しかけられました。あなたは，一緒になってからかいますか？
2	中学生	あなたの女の子の友達は，月経前になると腹痛や頭痛はひどく，イライラしやすくなります。その友達から「今日は体調が悪いから，係の仕事を代わりにやっておいてほしい」とお願いされました。あなたは今までもその友達の代わりに仕事を何度かやったことがあります。あなたは，友達の願いを聞き入れますか？
3	中学生	あなたの友人は，SNSで知り合った異性と頻繁にやり取りをしています。「相手の写真が送られてきて，こっちの写真も送ってほしいって言われました。まだ不安だから，顔がよくわからない写真を送ろうと思う」と相談されました。あなたは友人の意見に同意しますか？
4	中学生	あなたの女性の友人Aは，小学校から続けていた野球を中学校でも部活動で続けようと考えています。ある日，友人Bから「女子なら野球じゃなくてソフトボールをやればいいのにね」と言われました。あなたは，友人Bの意見に同意しますか？

での語り合いをまたやりたいか」という問いに対して、「やりたくない」と回答した生徒は女子ではおらず、男子では3人と少なかった(図2)。

### 3-2 授業後感想の共起ネットワーク図

図から読み取った語のまとまりを、実際の自由記述と照らし合わせて、文章の意味合いが同様で特徴的なものとして、「仲間との様々な考えの交流」、「伝える難しさ、恥ずかしさ」、「カードゲームの良さ、楽しさ」、「相手の気持ちを尊重する」という4つのグループに整理した。

### 3-3 班の話し合い活動の逐語録

班の話し合い活動から逐語録を作成した。活発に話し合いが進んでいる班と、別の話題になってしまった班があった。しかし、どの班も4人全員が発言していることが読み取れた。また、あまり話し合いが活発に行われていない班は、全員が同意見であることが多かった。今回は、男女2人ずつで班を構成したが、どの班も男女どちらに偏ることなく話し合いに参加できていた。

## 4. 考察

図1より、中学生における性に関する対話的授業において「CROSS OPINION」カードは有効であると考えられる。理由として「役」を生徒に与えたことが関係あると推察される。生徒が私というものを直接出さずにすみ、安心感をもって話し合いができたと考えられる。また、役割演技によって他の人の立場や考え方をとらえやすくなったと推察される。続いて、「CROSS OPINION」カードを用いた性についての語り合いをまた行いたいか」尋ねたところ、やりたいと回答した生徒が多い。一方で、どちらでもないと回答している生徒が過半数いた。これらの生徒に対して、より興味を持ってもらえるようにどのような手立てをするのが今後の課題として挙げられる。

授業後の感想から作成した共起ネットワークから「伝える難しさ、恥ずかしさ」にカテゴリズされた中に「CROSS OPINION」を通してイエスノーで自分の考えを伝えるのは少し難しい部分もあるけれど伝えやすくしていいなと思いました」ととても楽

しかった。性について語るの難しいけれどその問題の登場人物の心情を考えてやるのはとても楽しかったです」などの感想があった。このように難しいと感じていても、話し合いの中で新たな考えや大切なことについて考えている様子が見られた。

## 5. まとめ

- 1) 性に対して語ることや語り合うことは、女子より男子の方が難しいと感じていた。
- 2) 性について語るのが難しいと回答している生徒でも、「CROSS OPINION」カードを用いたら難しくないと、または、どちらでもないとして回答しており、語り合い活動への参加を促す効果が見られた。
- 3) 話し合いが難しいと感じている生徒でも、新しい発見、大切なことを見つけた生徒がいた。
- 4) 「CROSS OPINION」カードを用いた性についての語り合いをやりたくないとして回答した生徒よりまたやりたいと回答した生徒の方が多かった。

以上より、「CROSS OPINION」カードは中学生においても、性に関する対話的授業において有効である。

## 文献

- 1) 上田邦枝：中学生が抱く「性のイメージ」分析—生命と性の健康教育に向けて—。昭和大学保健医療雑誌。2014；12：54-62。
- 2) 石井里佳・木山慶子・霜触智紀：高校科目保健における性に関する効果的な語り合いを促す授業—「cross opinion」の開発と授業実践および評価—。保健科教育研究。2020；5：2-14。
- 3) 湯瀬英寿・米内麻衣・綿引治朗：アクションリサーチを活用した保健授業「CROSS OPINION」による小学校4年生保健学習。体育科教育。2021；69(6)：62-65。
- 4) 文部科学省：中学校学習指導要領解説保健体育編。2019：214-219。

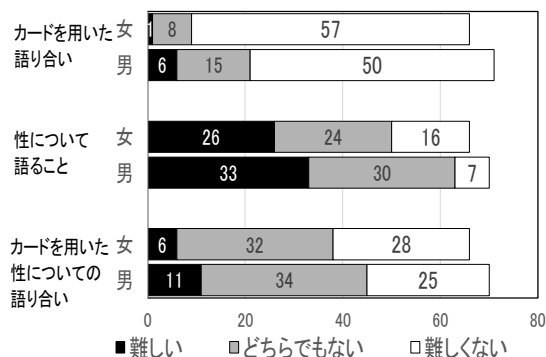


図1 語り合い活動の難しさ

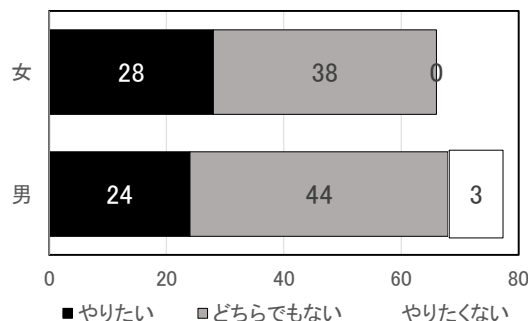


図2 カードを使用した性についての語り合い活動